



よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

部内資料

2012, 4, 22 NO. 211

編集・発行

よしかい育子
465-7071
小川ゆうじ
466-8887
なんでも相談所
465-9939

なんでも相談の開設は
月・水・金の
午前10時～正午
無料・弁護士相談
5月11日(金)
午後18時～20時
予約が必要です

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

小川・吉開 検索

第1回市町村議会議員特別セミナーに参加

田尻町議会は、都合のつかなかった3人を除き小川、吉開、高木、明貝、中川、大門、坂口の7人の各議員が下記の日程・内容で、滋賀県にある全国市町村国際文化研究所で開催された議員セミナーに参加しました。セミナーには、全国各地から約250人の地方議員の参加がありました。2日間で4人の講師から、これからの子育て支援に何が必要か聴き、勉強になりました。

4月12日(木)

「これからの子育て支援」 早稲田大学文学学術員教授 増山 均 氏
「ユニバーサル社会の実現を目指して」
社会福祉法人プロップステーション理事長 竹中 ナミ 氏

4月13日(金)

「児童虐待の現状と対策の必要性」
子どもの虹情報研修センター研修部長 川崎二三彦 氏
「地域福祉と自治体の役割～日本一の子育て村を目指して」
鳥根県邑南町長 石橋 良治 氏

町内にある公立病院では産婦人科・小児科を充実させており、病院内で病児保育を実施しています。不妊治療費助成や妊婦歯科検診費用全額助成、第2子から保育料は無料など、田尻町にはない子育て支援対策に、私はたいへん感心しました。

「日本一の子育て村」目指す
邑南町は鳥根県中央部の山間にあり、平成16年10月に2町1村が合併した人口1万2千人ほどの町。町の財政は交付金を含め一般会計116億円というなかで23年度より「日本一の子育て村」構想に取り組み、若者の定住や人口増加を目標に医療・福祉・教育など総合的に支援を推進しています。

スピーカーの増設、うれしいです

共産党田尻町支部が全戸に配布させていただいた3月議会報告の「たじり民報」をごらんになって、「聞くに聞こえなかったのが公民館の屋上に、こちらに向けてスピーカーをつけてくれるようになって、うれしいです。」と、ハワイアンビレッジにお住まいの方からご感想をいただきました。
「たじり民報」へのご意見などお寄せ下さい。

新しい超音波検査受診券が届きました

また今月から、妊婦検診助成に超音波受診券が最大4回追加になり、現在母子手帳を持っていらっしゃる妊婦の皆さんに、妊娠週数に応じた枚数の新しい「超音波受診券」が町より郵送されています。
私の知り合いのもつうぐ妊娠6ヶ月になる妊婦さんには4枚届き、喜ばれています。届いた受診券を見せていただきました。

新しい超音波受診券



作家の赤川次郎さんも橋下大阪市長を批判

朝日新聞4月12日付「声」に投稿

橋下氏、価値観押しつけるな

作家 赤川 次郎 補助金なしでやっている。
(東京都港区 64) 舞台上に座布団一枚あればいい
大阪の橋下徹市長は大阪府落語と、装置を組み、大勢の立和泉高校の管理職をなぜ処分しないのだろうか？ 教師の口元チェックをしながら、姿勢正しく心をこめて「君が代」を歌えなくてはならないのだから。それにしても生徒のためのものであるはずの卒業式で、管理職が教師の口元を監視する。何と醜悪な光景だろう！ 橋下氏は独裁も必要と言っているぞうだが、なるほど「密告の奨励」は独裁政治につきものである。
府知事時代、橋下氏は初めて文楽を見て、こんなもの二度と見ないと言いつつ、補助金を削減した。曰く「落語は金を使わない」といふ。過去に学ぶ謙虚さを持ち合わせない人間に未来を託するのは、地図もガイドもなく初めて山に登るのと同じ。一つ違うのは、遭難するとき、他のすべての人々を道連れにするということである。

「いくら何でもあれはやりすぎやな」という声が町内でも聞きます。

橋下維新の会が通した「国歌斉唱条例」により府立和泉高校の管理職が卒業式で、国歌を歌っているかどうか教師の口元を監視していたことに批判の声がひろがりしました。「教育基本条例」には女優の竹下景子さんをはじめ、多くの有名人が反対の声をあげています。作家の赤川次郎さんも橋下大阪市長を批判している記事がありましたので紹介します。

邑南町で「NHKの自慢」開催

講演の終わりに石橋町長は、邑南町がテレビで放送されると紹介しました。つぎの番組です。

5月7日「NHKあさいち」

8日「TBSテレビ」もてもてナインティナイン

6月3日「NHKのご自慢」開催